

成田セイリユウ

滋賀県議会議員（大津市選挙区）

成田セイリユウ プロフィール

1974年8月15日大津市生まれ
唐崎小、中、膳所高、龍谷大学法学部政治学卒業
同志社大学大学院総合政策科学研究科博士前期課程修了
宅地建物取引士 / 大津市消防団地域防災指導員
教育・文化スポーツ常任委員会 委員長 / 地方創生・ICT 対策特別委員会 委員
議会改革検討委員会 副委員長 / 第11回マニフェスト大賞 優秀政策提言賞受賞
〒520-0106 大津市唐崎 1-20-28 mail@narinari.net



滋賀県議会活動 NewsReport Vol.64 2021 年春号

未来への責任

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、経済や雇用にも大きなダメージが生じています。また生活への不安やストレス、孤独などつらい気持ちを抱えておられる方も多くおられます。「**こころ**」と「**いのち**」を守るためにも、悩みを一人で抱え込まずに、身近な方や、相談窓口にご連絡いただき、不安を一つずつ解消し、つらさを和らげて頂きたいと思っております。



滋賀県においても、悩んでおられる方に寄り添うことで、「こころの健康」でも、日本一を目指してまいりたいとされています。「**こころに寄り添う滋賀**」、誰一人取り残さない**滋賀**になるよう、これからも取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症対策の強化

※金額は主な令和3年度当初予算

- 検査・医療体制の充実・確保**（251億3010万円）
病床の確保、医療従事者勤務環境改善の支援、PCR 検査体制の充実、衛生科学センターの機能強化 など
- 感染拡大防止対策**（35億3810万円【2月補正含む】）
ワクチン接種体制の確保、宿泊療養体制確保、介護ロボットの導入および ICT 化の支援、行政のデジタル化の推進 など
- 相談体制の確保**（3億6180万円【2月補正含む】）
感染症に関する24時間相談窓口の設置、こころのケアチームの支援強化、SNS による悩み相談窓口の設置 など
- 経済・雇用対策**（719億900万円）
社会・経済の変容に対応する企業等の支援、県内中小企業等への事業継続支援、テレワーク導入やワーケーションの推進、雇用シェアサポート事業 など
- 生活支援**（33億3490万円【2月補正含む】）
生活困窮者の自立支援、家族の雇いにより在宅生活が困難になる子どもや高齢者等への支援、新型コロナに感染した妊産婦に対するケア など
- 学びの機会の確保**（11億6240万円【2月補正含む】）
学習アシスタントやスクールサポートスタッフの配置など、学校教育活動継続への支援、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの拡充 など

安心して不妊・不育治療を受けることができる環境づくり

現在、日本の5、5組に1組が不妊の検査や治療を経験しており、この割合は年々増加しております。そして、治療期間が長期に及ぶため、**経済的にも精神的にも、負担**が大きく体調不良が発生することもあり、柔軟な勤務を可能とする**職場環境や周囲の理解・配慮**が望まれております。来年度、安心して不妊・不育治療を受けるために、**経済面、精神・身体面、環境面の三つの視点で支援を拡充**します。

- 経済的支援**（7億6077万円）
特定不妊治療助成
・所得制限：撤廃
・助成額：治療1回あたり30万円（一部10万円）
・助成回数：1子ごと 6回まで（40歳以上 43 歳未満は3回）
・事実婚の夫婦も対象
不育症検査費用助成
・助成額：検査1回あたり5万円
- 精神・身体的支援**（590万円）
当事者団体等との協働
不妊・不育に悩む方をサポートするためのイベント開催
不妊専門相談センターの設置・運営
- 環境支援**（200万円）
職場の理解促進（企業向け出前講座）
職場環境整備定着支援
・有給休暇の取得助成金（1人1日1万円、1事業所上限10万円）

「やまの健康」の推進

- 森林の適正管理**（33億9000万円）
間伐・路網整備・針広混交林化・災害に強い森林づくり（予防伐採）
伐採・再造林・放置林対策・木質バイオマス利用
予防治山・復旧治山・流木対策・保安林整備
- 農山村の活性化**（3000万円）
農山村の魅力を高めるモデル地域活動支援
森林資源・空間を活かした産業創出
木育ビジネス化を通じたやまに関心を持つ機会の創出
- 林業の成長産業化**（2億3000万円）
活力ある林業の推進
加工・流通体制の整備
幅広い県産材の活用

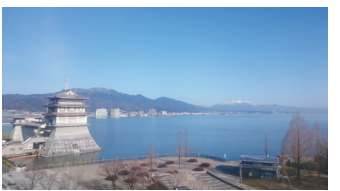


美の魅力にあふれる滋賀をみんなの美術館に

- 交流や発信の場づくり**（2260万円）
6月27日に再開館する県立美術館に、新たに「美の発信」の総合センターを設け、一体的に事業を推進
・美の資源・イベント・人材・施設など、滋賀の美に関する記事や周遊コースの発信
・文化ゾーン内でのアート関連イベントの定期開催（アートのひろば）
・アール・ブリュットデジタルミュージアムの展開 など
- ネットワークを活かした多面的な発信**（100万円）
県立施設間 及 美術系ミュージアム間で連携会議を立ち上げ、ネットワークを強化し、様々な連携事業を展開
- 美術館改革**（2億9280万円）
県立美術館（旧近代美術館）の再開館後に、新たな事業展開
・魅力ある展示会の開催
・多様なアート体験の提供
・メンバーシップ制度やサポーター制度の創設
・公園内のアート感の醸成 など
- 琵琶湖文化館のリスタート**（4180万円）
（仮称）新・琵琶湖文化館の整備に向けた検討や近江の文化財の魅力の発信

「かわる、かかわる」ミュージアム

創造 (Creation)、問いかけ (Ask)、地域 (Local)、学び (Learning) の4つ (CALL) を軸に、変動する社会に対し、柔軟にかわりながらかわり続ける「つねにフレッシュなミュージアム」というモデルを滋賀から発信



滋賀を文化芸術で元気にしよう

R3年度も予算化

- 未来へつなぐ文化応援事業**（7763万円）
新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動自粛等により、公演等の活動機会を失った文化活動関係者の活動継続を支援するため、感染症対策を実施しながら再開する文化活動に対し補助金を交付します。（上限20万円）
- 文化芸術公演支援事業**（9193万円）
新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、県内文化施設で文化芸術公演を実施する利用者に対し、**施設利用料の1/2**を支援します。

地域の健康を支える公共交通

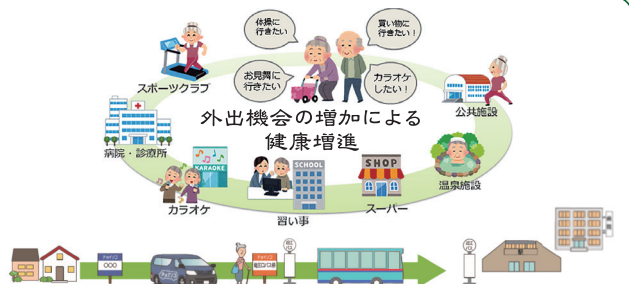
現状と課題
☆**地域公共交通は利用者や運転者の減少等により現状のままでは維持確保が困難**
☆**交通不便地や免許非保有者の増加等により外出機会が減少すると、健康寿命の延伸にも影響**
☆**地域の輸送資源を総動員し、県民の移動を確保する持続可能な仕組みをどのように構築していくかが課題**

滋賀県の取り組み

- 地域交通の維持確保支援**
・路線バスやデマンドタクシー、自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバスや送迎サービス等地域の交通実態の把握
・地域の公共交通網を維持・構築するための支援方策の検討
- 地域特性に応じた移動手段の導入**
・まちづくりや交通不便地に対応する移動手段として、新たなデマンド型交通の導入に取り組む。

アウトプット

- 地域特性や移動特性に応じた最適な移動手段の選択についての考え方を整理し、各地域公共交通計画に反映
- ・地域の実情に合わせた多様な移動手段の活用
- ・路線バスやデマンドタクシー等を地域の交通ネットワークとして維持・存続するための指標、目標、費用負担



公共交通の利用⇒外出機会の増加⇒健康増進